

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	スカイ・ジェミニ			
○保護者評価実施期間	R8年1月30日		～	R8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	R8年1月30日		～	R8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ABAやCBT、OTなどの専門的なスキルや知識を日々の療育に活用している	・定期的に職員同士で勉強会を行ったり、研修を行っている ・アセスメントツールの使い方などを職員同士で練習し合っている	・児童に実践する機会を増やし、保護者様に療育の説明をしっかりと行う ・他事業所などの他の機関にも説明できるようなスキルと知識を身に付けるよう努めていく
2	・連絡帳やLINEなどでご利用者様の日々のご様子を保護者様と密に連絡している ・計画相談や他事業所と連携を図っている	・何かあれば直ぐに報告・連絡。相談を行っている ・一人一人の強みや興味関心を把握し、それを活動に取り入れて、写真に収めている	・写真送付に加え家庭での様子や変化についての共有して頂ける機会を設け双方向のやり取りを充実させる ・日々の観察記録や保護者との情報共有を通して、子供の新たな強みや関心を把握し活動プログラムに柔軟に反映する

3	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中に困っている友達に自ら声をかけるなど思いやりのある行動を取れるよう子供たちと一緒に話し合いをしている ・子供たちの長所を引き出しながら支援に繋げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の場面を取り上げながら困っている友達への声かけや、かかわりあい方について子供たちと話し合う時間を設けている ・一人一人の強みや興味関心を把握し、それを活動に取り入れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりのある行動をより具体化する為、ロールプレイや場面設定を取り入れた話し合いを実施していく
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者のスキルや知識にバラツキがあり、一定の支援技術が安定していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成のためのマニュアルが足りない ・職員それぞれのこだわりが強く柔軟な考えが足りない 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成する ・人材育成のための社内研修を継続する ・職員同士のコミュニケーションを増やす
2	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の児童部会がないため参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の児童部会がない代わりに大阪市障がい者施設連絡協議会の障害児部会や平野区の放デイ連絡会に参加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の児童部会を作ってもらおうよう地域の関係機関に要望する
3			